

ご挨拶

本校ホームページをご覧ください、誠にありがとうございます。

校長の原でございます。

本校は「愛と感謝と笑顔で日本一を目指す」という目標のもと、「勉強・部活・探究」を学びの三本柱として、生徒一人ひとりの成長を支えています。9割以上の生徒が部活動に打ち込み、探究活動と合わせて、仲間と共に協働する力や自分を磨く姿勢を育んでいます。

AI時代における池高教育ビジョン

これからの10年で、AIは社会のあらゆる場面で活用されるようになります。しかし同時に、人間にしかできないことの価値はむしろ高まっていくと考えています。

本校が位置するこの地域には、教科書には載っていない「生きた課題」と「豊かな知恵」が溢れています。本校が推進する「地域を学びのフィールドとした探究活動」は、生徒が自ら問いを見つけ、地域の方々と協働しながら課題解決に取り組む、まさにAI時代に求められる学びの実践の場です。

さらに本校は「教育DXハイスクール」として、生徒の探究を強力にバックアップしています。AIやデジタルツールを「思考を拡張する武器」として活用し、地域で得た気づきをデータで裏付けたり、専門家とつながったりしながら、より深い学びを実現しています。

「地域・探究・DX」が織りなす池高独自の学び

本校では、地域の方々の声を聞き、自分の足で稼いだ「一次情報」を大切にしながら、その情報をAIで分析し、解決策へとつなげていく学びを実践しています。「フィールドで見つけ、AIで深める」。この往復こそが、本校の探究活動の核心です。

部活動で培われる協働力や粘り強さは、探究活動における地域との協働に直結します。勉強で得た知識は探究の土台となり、部活動での実践を支えます。この三本柱が相互に作用し合う学びの環境を、DXの力でさらに強化しています。

池高生に育みたい力

AI時代においても変わらず価値を持つ力として、本校では「批判的思考力」、「創造性と問題発見力」、そして「コミュニケーション力と協働する力」を特に重視しています。

「正解を当てる力から、問いをつくる力へ」。点数や偏差値だけでなく、「自分は地域のどんな課題に疑問を持つか」「どんな未来をつくりたいか」を考える姿勢を大切にしています。

池高の強みと未来への挑戦

地域という豊かなフィールド、デジタル技術の活用、そして部活動で培う人間力。この本校ならではの強みを活かし、生徒たちが誇りを持って未来へ踏み出せる教育を実践してまいります。私たち教職員は、知識を教える人から、学びをデザインし導く人へと役割を変化させながら、生徒一人ひとりに寄り添う伴走支援を心がけています。

変化の時代だからこそ、「愛と感謝と笑顔」で、地域と共に新しい学びの形を創っていきたいと考えています。「勉強・部活・探究」の三本柱を軸に、生徒と教職員が心をつなげて、日本一を目指す挑戦を続けてまいります。

さあ、中学生のみなさん。私たちの新たな仲間になり、池田高校の3年間で新たな体験をし、未来に向けて自分の価値を磨いていきましょう。皆さんと共に学べることを期待しています。

保護者の皆様、地域の皆様、関係各位におかれましては、引き続き本校の教育活動へのご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

徳島県立池田高等学校

校長 原 史磨